

いずみさの教育NOW

「主体的・対話的で深い学び」の実現

平成29年3月、新しい学習指導要領の実施から、小学校は4年目、中学校は3年目を迎えています。この学習指導要領では、授業の創意工夫や教材などの改善を引き出していくことができるよう、全ての教科などの目標および内容が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱でまとめられています。

そして、学習の質を一層高めるための取組を活性化させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が図られています。本市としても「泉佐野スタンダード」を作成して主体的な学びの実現に向けて以下の3つの柱を提示しています。

- ① 学習規律の徹底：教室環境の整備、机・机上の整理の徹底、チャイム行動の推進
- ② 子どもへの働きかけ：子ど

もへのかかわり、つまずきへの対応

③ 授業の工夫：「めあて」「ふりかえり」の充実、学習活動の充実

子どもたちが、目標に向かって各々自分の考えを持ち、友だちと共有できる環境をつくり、協働的な学びに向かうことが大切です。そのために、子どもたちが自分の考えを表現できるようにICTを最大限活用して「個別最適な学び」に努めています。

多様化が進む今後の社会で生活していく中で、子どもたちが自ら課題を見つけてお互い話し合いながら、自分たちで解決できるように、日々の授業や学校生活で力をつけていくことを願って取り組んでいます。



学校園紹介

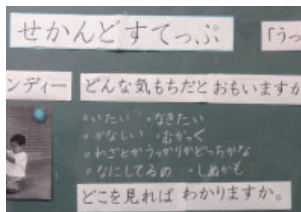


感情のコントロール ～中央小学校～

子どもたちが自分の心の状態を安心安定に保つにはいろいろな要因が必要です。感情をうまくコントロールすることもその一つだと考えています。すべての教育活動を通じてそれを育むものと思いますが、中央小学校では特にこの点を特化した教育プログラム「セカンドステップ」に取り組んでいます。

学習していくことは大きく3つ、「自分の気持ちと相手の気持ちについて」「問題をどのように解決したらよいか」「怒りを感じた時どうすればよいか」です。自分の気持ちを相手に伝えることはなかなか難しいので、どう言えうまく伝わるか具体的に考えます。いろいろな場面、とりわけ子どもたちにとって解決が困難な場面で、どうすればよいかをストーリーを通して学習します。

加害者にならないためのステップは、自分が被害者にならないステップでもあります。すぐに効果が表れるものではありませんが、子どもたちの心の安心安定のため、自分で少しでも感情をコントロールできるよう取組を続けたいと考えています。



創立150周年 ～第一小学校～

本校は、明治5（1872）年の学制発布により、上善寺の堂宇を借り受け開設されました。昨年、創立150周年を迎え11月に本校卒業の千代松市長にも出席していただき、記念式典を行いました。

明治、大正、昭和、平成、そして令和の時代を経て15,000人を超える卒業生が巣立ちました。現在は、304人の児童が在籍し、明るく元気に学校生活を送っています。

創立の翌年には「佐野小学校」と改称され、明治8（1875）年11月15日に北前船で財をなした豪商「食野家」の邸宅を改修して校舎とし、現在も同じ場所に校舎が建ち続け教育活動を行っています。時代の流れにより学校名は数回改称され、昭和23（1948）年の市制施行により「泉佐野市立第一小学校」となりました。正門にそびえる松の木は、創立当時から第一小学校の子どもたちを見守り続けてくれています。

